

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 5月 16日 (木)

2 確認箇所

既設多核種除去設備サンプルタンク

3 確認項目

既設多核種除去設備サンプルタンク（フランジ型タンク）の現況

4 確認結果の概要

フランジ型タンクの使用継続に当たってはタンク側面のフランジ部等に補修塗装を実施する漏えい対策が順次実施されている。当面使用が継続されるフランジ型タンクのうち、今回は既設多核種除去設備サンプルタンク（全4基）の現況を確認した。

- ・多核種除去設備サンプルタンクは多核種除去設備で処理した水を分析するため一時的に貯留するタンクである。（図1、写真1）
- ・タンクフランジ部の補修塗装は4基とも実施されていた。また、タンク側板にも著しい腐食は見られなかった。（写真2）
- ・タンクの堰については表面塗装が施されたコンクリート擁壁であり、目視では亀裂等の異常は確認されなかった。（写真3）

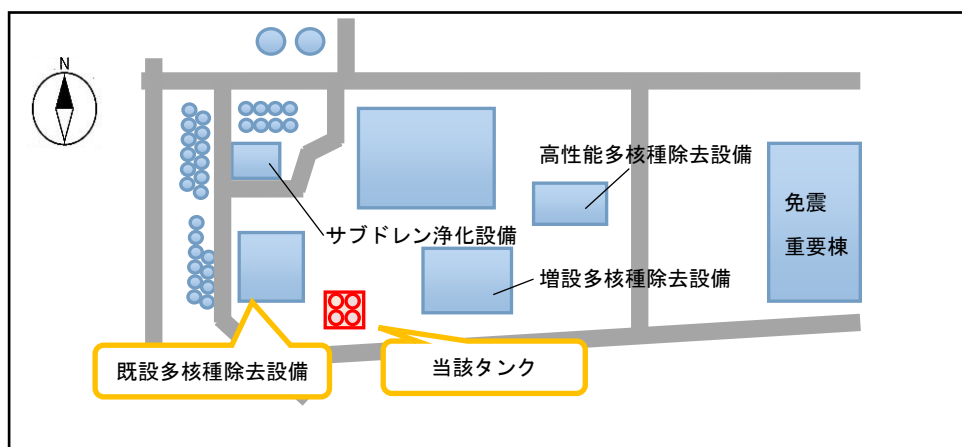
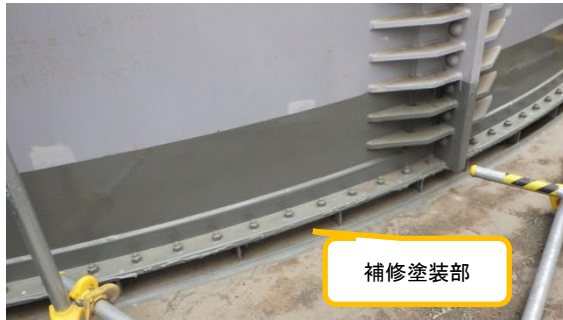


図1 設備位置概略図



(写真1)



(写真2)



(写真3)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。